

**保証規定**

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。  
取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - 保証書をご提示いただけない場合。
  - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
  - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

<b>保証書</b>	サンワサプライ株式会社
型番: <input type="checkbox"/> SW-KVM2HDCN2 <input type="checkbox"/> SW-KVM4HDCN	
シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL	
販売店名・住所・TEL	
担当者名	保証期間 6ヶ月 お買い上げ年月日 年 月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



**本製品の詳細情報はこちら!**  
スマホで読み込むだけで簡単にアクセス!



**弊社サポートページはこちら!**  
■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)  
■ソフトダウンロード ■各種対応表  
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

**サンワサプライ株式会社**

ver.1.0

岡山 サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
 東京 サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
 札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-718-8990  
 仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区植岡1-6-37 TM仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
 福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CB/AH/KSDaAT



**SW-KVM2HDCN2**  
**SW-KVM4HDCN**

**デュアルリンクDVI対応  
パソコン自動切替器**  
**取扱説明書**



SW-KVM2HDCN2



SW-KVM4HDCN

この度は、デュアルリンクDVI対応パソコン自動切替器「SW-KVM2HDCN2」「SW-KVM4HDCN」(以下本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

**最初にご確認ください**

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。  
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

**セット内容 (SW-KVM2HDCN2)**

- ①切替器 ..... 1台
- ②パソコン接続ケーブル(1.8m) ..... 2本
- ③7.1chシステム用オーディオケーブル(1.8m) ..... 2本
- ④USB-PS/2変換ケーブル ..... 1本
- ⑤ACアダプタ ..... 1個
- ⑥取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

**セット内容 (SW-KVM4HDCN)**

- ①切替器 ..... 1台
- ②パソコン接続ケーブル(1.8m) ..... 4本
- ④USB-PS/2変換ケーブル ..... 1本
- ⑤ACアダプタ ..... 1個
- ⑥取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

\*欠品や破損があった場合は、品番(SW-KVM2HDCN2など)と上記の番号(①~⑥)と名称(パソコン接続ケーブルなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

**サンワサプライ株式会社**

## 目次

■本書の表記について	3
■安全にお使いいただくためのご注意	3
■取扱い上のご注意	3
■特長	4
■動作環境	5
■各部の名称とはたらき	6
■使用方法	8
・接続する前に	8
・接続例	9
・ポート番号の割当て	10
・終了と再起動	10
■基本操作	10
・ボタン切替え	10
■ホットキー操作	11
・ホットキーによるポートアクセス	11
・ホットキーモードの起動	11
・ホットキーによる切替え操作	11
・ポートのダイレクト切替え一覧表	11
・オートスキャン	12
■ホットキーセッティングモード	12
・ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する	12
・ポート切替えのホットキーを変更する	13
・使用キーボードの変更	13
・ホットキー設定を確認する	13
・USB機器のリセット	13
・ビープ音のON・OFF切替	14
・ポート切替ホットキーの無効化	14
・ホットキーの設定をデフォルトに戻す	14
・ディスプレイエミュレーション機能	14
・手動ポート選択機能を変更する	15
・マウスエミュレーション機能を使用する	15
・キーボードとマウスをリセットする	15
・ホットキーセッティングモード一覧	16
■Macキーボードエミュレーション	17
■仕様	18
■トラブルシューティング	19
■保証規定・保証書	20

## 本書の表記について

本書では、以下の表記を使用します。

KVM …… キーボード・ディスプレイ・マウスのこと  
オーディオ …… スピーカー・マイクのこと  
USBハブ …… フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

- ① 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
- 情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
- ⚠ 重要な情報を示しています。

## 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

**⚠ 注意** 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
  - 次のような場所では使用しないでください。
    - (1) 直射日光の当たる場所
    - (2) 湿気や水分のある場所
    - (3) 傾斜のある不安定な場所
    - (4) 静電気の発生する場所
    - (5) 通常の生活環境とは大きく異なる場所
  - 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)
- お手入れについて
- (1) 清掃するときは電源を必ずお切りください。
  - (2) 機器は柔らかい布で拭いてください。
  - (3) シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

## 取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめに行うことをお勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)

## 特長

- 1組のキーボード・マウス・ディスプレイで2台のパソコンを切替えて使用できます。
- デュアルリンクDVI対応で超高解像度2560×1600(60Hz)に対応しています。
- HDCP対応でフルHD解像度(1920×1080)、WUXGA(1920×1200)のワイドディスプレイにも対応しています。
- ディスプレイエミュレーション機能(EDID読み出し回路)を搭載しています。ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わる、画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- USB2.0ハブを2ポート搭載しており、USBプリンターなど各種USBデバイスを複数台のパソコンで切替えて共有することができます。さらに単独切替えも可能なので、別のパソコンでUSB機器を動作させながら他のパソコンで作業をすることも可能です。
- キーボードとマウスは同梱のUSB-PS/2変換ケーブルを使用することで、USB、PS/2どちらにも対応できます。マウスはUSB、キーボードはPS/2などの接続も可能です。
- スピーカー、マイクの共有も可能です。単独切替えにも対応しており、コンソールデバイスとスピーカー・マイクは別々に切替えができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することが可能です。
- 7.1chサラウンドオーディオ出力搭載。迫力の音声を2台のパソコンで切替えて共有できます。(SW-KVM2HDCN2のみ)
- フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載しています。手軽に接続・取り外しができるのでZoom、teamsなどの利用時に便利です。
- KVM、USB2.0ハブ、オーディオの独立切替えが可能です。
- キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。
- マウスエミュレーションON/OFF機能を搭載。切替え時の素早いマウス操作が可能です。
- ホットキー、本体切替えボタン、2通りの切替方法に対応しています。
- マウス・キーボードのみの接続も可能です。(ディスプレイはパソコンへ直結して使用します)
- ソフトウェアのインストール不要で、接続するだけで全ての機能を使用することができます。
- 全てのパソコンをモニタリング可能なオートスキャン機能を搭載しています。



- 本製品はACアダプタの接続が必須です。未接続状態では動作しません。
- すべてのパソコン・キーボード・マウスの動作を保証するものではありません。
- キーボード、マウスにおいてドライバーのインストールを要する特殊なボタン、ファンクションキーについては本切替器経由では動作しないことがあります。
- ワンタッチボタンによるレジューム・サスペンド機能は対応しておりません。
- Microsoft Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

## 動作環境

### ■対応パソコン

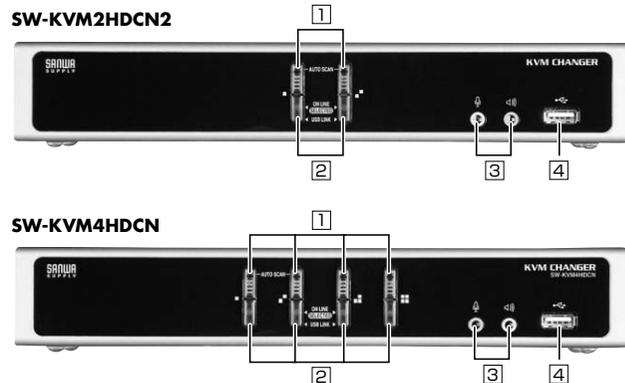
Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ  
※USB Aコネクタ、DVI(24/29pin)ディスプレイコネクタを持つ機種。

### ■対応OS

Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP  
Windows Server 2019、2016、2012 R2、2012、2008 R2、2008、2003 R2、2003  
macOS 11、macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.8~10.11  
Linux(CentOS、Ubuntu、OpenSUSE)

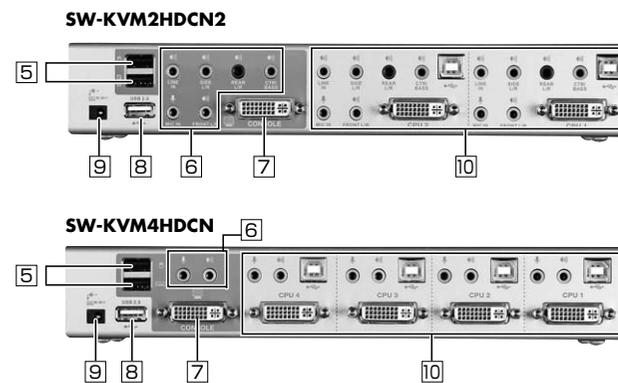
## 各部の名称とはたらき

### ①切替器 (フロントパネル)



名称	機能						
① ポート選択ボタン	1回押すと、KVMのみを選択したポートに切替えます。 2秒以上長押しすると、KVM・USBハブ・オーディオすべてを選択したポートに切替えます。 ポート選択ボタン1・2を同時に2秒以上押しすると、オートスキャンを開始します。 ※P.12参照						
② LED	ポート選択ボタンに内蔵されています。 上段がKVMポートLED、下段がUSB LEDです。						
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">KVM</td> <td>点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。</td> </tr> <tr> <td>点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。</td> </tr> <tr> <td>点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">USB</td> <td>点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。</td> </tr> <tr> <td>点灯時(明るいグリーン) ▶対応ポートに接続されたパソコンが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしています。</td> </tr> </table>	KVM	点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。	点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。	点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。	USB	点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。
KVM	点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。						
	点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。						
	点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。						
USB	点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。						
	点灯時(明るいグリーン) ▶対応ポートに接続されたパソコンが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしています。						
③ コンソールオーディオポート	コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。						
④ USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンター・スキャナなど)を接続します。						

### ①切替器 (バックパネル)



名称	機能
⑤ コンソールマウス・キーボードポート	マウス・キーボードを接続します。
⑥ コンソールオーディオポート	マイク・スピーカーを接続します。
⑦ コンソールディスプレイポート	ディスプレイケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを接続します。
⑧ USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンター・スキャナなど)を接続します。
⑨ 電源ジャック	付属の電源アダプタを接続します。
⑩ パソコンポート	付属の接続ケーブルを使用し、パソコンを接続します。 各ポートは、マイクジャック・スピーカージャック・USB Bコネクタ・DVIコネクタで構成されています。

### ②パソコン接続用ケーブル



### ③7.1chシステム用オーディオケーブル (SW-KVM2HDCN2のみ)



### ④USB-PS/2変換ケーブル



### ⑤ACアダプタ



## 使用方法

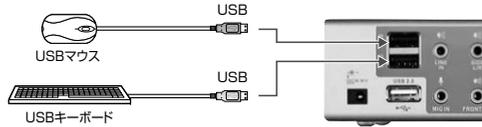
### ■接続する前に



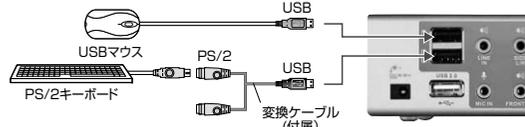
- (1) 接続するパソコンや周辺機器など、すべての電源がOFFになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるパソコンは、電源ケーブルも抜いてください。
- (2) パソコンや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアースされていることを確認してください。
- (3) 以下の手順に従って作業を行ってください。

### ①キーボードとマウスを接続する。

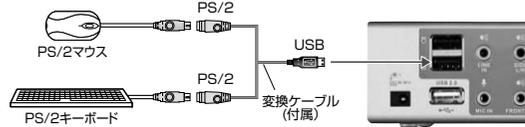
**USBマウスと  
USBキーボードを使用する場合**  
それぞれ該当するポートへ接続します。



**USBマウスと  
PS/2キーボードを使用する場合**  
マウスはマウス接続ポート(上側)へ接続し、キーボードは変換ケーブルを使ってキーボード接続ポート(下側)に接続します。



**PS/2マウスと  
PS/2キーボードを使用する場合**  
いずれも変換ケーブルを使い、キーボード接続ポート(下側)に接続します。



### ②ディスプレイを接続する。

ディスプレイケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを、本製品バックパネルのコンソールディスプレイポートに接続します。

### ③マイク・スピーカーを接続する。

メインで使用するマイクとスピーカーは、本製品フロントパネルのコンソールポート(オーディオ)に接続します。

- マイクとスピーカーは、フロントパネルに接続した方が、バックパネルに接続したものよりも優先されます。
- SW-KVM2HDCNは7.1chサラウンドシステムに対応しています。パソコン接続ケーブルは2.1chサラウンドシステムにしか対応していません。7.1chサラウンドシステムをご使用になる場合は、同梱の7.1chシステム用オーディオケーブル(1.8m×2、マイク:ピンク色、スピーカー:緑色)を使用し、オーディオ出力側のジャックに接続してください。

### ④DVIケーブルを接続する。

パソコンポートのDVIポートにDVIケーブルを接続してください。  
付随しているマイク・スピーカーのコネクタも、それぞれ同じグループのマイク・スピーカージャックに接続します。  
ケーブルのもう一端は、右ページP.9のように接続します。



### ⑤電源コンセントに接続する。

ACアダプタ(付属)で本製品の電源ジャックとコンセントを接続します。

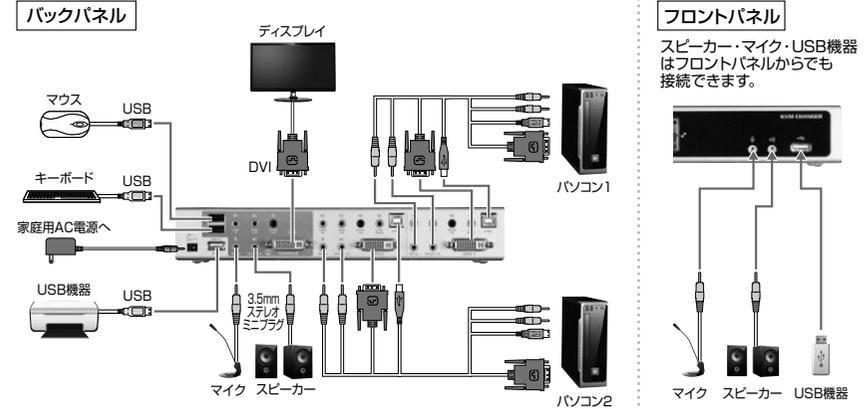
### ⑥USB機器を接続する。

USB機器はフロント/バックパネルのUSBポートに接続します。これで接続は完了です。

### ⑦パソコンの電源をONにする。

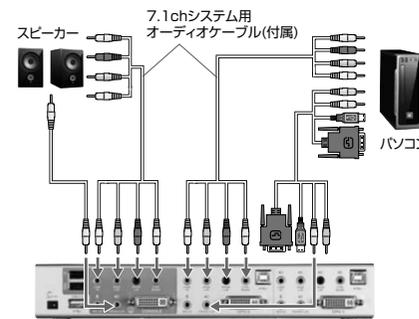
### 接続例

図はSW-KVM2HDCN2の接続例です。パソコンを2台まで接続・制御できます。



### 7.1chサラウンドシステム

(SW-KVM2HDCN2のみ)

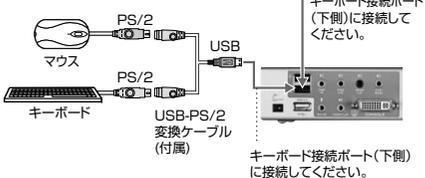


### その他の接続例

ワイヤレスキーボード+マウスセットの場合



PS/2キーボード・PS/2マウスの場合



## 使用方法(続き)

### ポート番号の割当て

各ポートには、ポート番号が割当てられています。ポート番号はバックパネルのパソコンのポートに明記されています。

パソコンのポートのポートIDは、そのパソコンを接続したポート番号に対応します。

例えば、ポート2に接続されたパソコンのポートIDは2になります。

ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替える時に使用します。

### 終了と再起動

本製品の電源を切ったり再起動する場合は、次の手順に従ってください。

- (1)本製品の電源をOFFにします。
- (2)本製品バックパネルからKVM(キーボード・マウス・ディスプレイ)ケーブルを外します。
- (3)本製品から電源アダプタを外します。
- (4)10秒経過してから、KVMケーブルを再び接続します。
- (5)本製品に電源ケーブルを再び接続します。

## 基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM …………… キーボード・マウス・ディスプレイのこと  
オーディオ …………… スピーカー・マイクのこと  
USBハブ …………… フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

### ボタン切替え

フロントパネルの「ポート選択ボタン(SELECTED)」を押して切替えてください。

ボタン操作	機能
ポート選択ボタンを1回押してすぐに離す。	KVMのみを選択したポートに切替えます。 オーディオ・USBハブは切替わりません。
ポート選択ボタンを2回押す。	オーディオのみを選択したポートに切替えます。
ポート選択ボタンを2秒以上長押しする。	KVM・オーディオ・USBハブのすべてを選択したポートに切替えます。
ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上長押しする。	オートスキャンを開始します。

## ホットキー操作

### ■ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによって、キーボードからのコマンド入力で切替器を操作できます。

### ■ホットキーモードの起動

ホットキーによる全ての操作は、まずHKM(ホットキーモード)を起動してから行います。

ホットキーモードは、【Scr Lock】キーを2回連続で押すと起動します。

### ■ホットキーによる切替え操作

ホットキーモードになると、【Num Lock】と【Caps Lock】のLEDが交互に点滅します。

この状態で「コマンド」キーを入力し、【Enter】キーを押します。

以上で「コマンド」キーに対応した切替え操作を行うことができます。

[ ] …… 本書では、入力するキーを示します。例えば【Enter】はエンターキーを押します。  
複数のキーを同時に押す場合は、【Num Lock】+【-】のように「+」を表記してあります。  
同時ではなく順番に押す場合は、【K】→【Enter】のように「→」を表記してあります。

### ■ポートのダイレクト切替え一覧表

ホットキー	機能
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートに切替えます。 <b>SW-KVM2HDCN2</b> : ポート1→ポート2 または ポート2→ポート1 ※1 <b>SW-KVM4HDCN</b> : ポート1→ポート2→ポート3→ポート4→ポート1
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [K]→[Enter]	KVMコントロールのみを次のポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [U]→[Enter]	USBハブのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [S]→[Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[Enter]	KVM、USBハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 ※1
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[K]→[Enter]	KVMコントロールのみを選択したポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[U]→[Enter]	USBハブのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[S]→[Enter]	オーディオのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[K]→[U]→[Enter]	KVMコントロールおよびUSBハブを選択したポートに切替えます。 オーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[K]→[S]→[Enter]	KVMコントロールおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 USBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[U]→[S]→[Enter]	USBハブおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールは現在のポートのままです。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [n]→[K]→[S]→[U]→[Enter]	KVM、USBハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 [Scr Lock][Scr Lock] [n] [Enter] と同じ動作です。

※表中の[n]は、パソコンのポートID(1~4)を表しています。実際の操作時は、切替え対象となるポートIDを入力してください。

※1:KVM・USBハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによってすべて同じ選択ポートに切替えられます。

## ホットキー操作(続き)

### ■オートスキャン

一定の間隔で自動的にKVMコントロールを切替えることができます。この機能によって、スイッチを毎回手動で操作することなく、KVMに接続されたすべてのパソコンの状態をモニタリングできます。

ホットキー	機能
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [A]→[Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMが可能なポートが5秒間隔で切替わります。5秒間隔はデフォルト設定です。
[Scr Lock]→[Scr Lock]→ [A]→[sc]→[Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMが可能なポートがsc秒間隔で切替わります。

※表中の「sc」は、オートスキャンを行う際のポートの切替間隔(秒)を示し、1~99秒まで設定することが可能です。

- オートスキャン有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード入力は無効になります。
- オートスキャン時、ディスプレイの表示内容がポートごとに切替わりますが、キーボード・マウス・USBハブは切替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートのままです。
- オートスキャンモードを終了するには、[Esc]または[スペース]キーを押してください。

## ホットキーセッティングモード

ホットキー(キーを押す組合せ)によって本製品をキーボードから直接コントロールできますが、そのホットキーを変更(カスタマイズ)することもできます。ホットキーをカスタマイズするには、すべてホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。ホットキーセッティングモードは次の手順で有効にします。

- ① [Num Lock]キーを押したままにします。
- ② [-] (マイナス)キーを押し、すぐに離します。 — 以下、この動作を **[Num Lock] + [-]** と表記します。
- ③ [Num Lock]キーを離します。

ホットキーセッティングモードが有効になると、

- [Caps Lock]と[Scr Lock]のLEDが交互に点滅します。
- 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
- [Esc]キーを押すと、ホットキーセッティングモードを終了します。

以下、いろいろなカスタマイズをご紹介します。

### ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する

ホットキーセッティングモードを有効にするデフォルトの操作キーは[Num Lock]+[-]ですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、[Ctrl]+[F12]という操作に変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更する。 [Num Lock]+[-] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[-] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻ります。

## ホットキーセッティングモード(続き)

### ポート切替のホットキーを変更する

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは[Scr Lock]の2度押しですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、[Ctrl]の2度押しに変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更する。 [Scr Lock][Scr Lock] ▶ [Ctrl][Ctrl] ▶ [Scr Lock][Scr Lock] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの[Scr Lock]2度押しに戻ります。

### 使用キーボードの変更

本製品のパソコンのポートはデフォルトでパソコン(Windows、Linuxなど)向けに設定されており、コンソールとして使用するキーボードもPC/AT互換キーボードを想定しています。Macを接続した場合でも、PC/AT互換キーボードでMacの特殊キー操作が行えるよう設定できます。また、Mac用キーボードを接続して使用することもできます。

この機能を使用する場合は、まずキーボード設定を行いたいポートを選択しておきます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[-]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、こちらを選択します。

### ホットキー設定を確認する

現在のホットキー設定を確認することができます。

- ① テキストエディタ、メモ帳を開きます。
- ② ホットキーセッティングモードを有効にします。
- ③ [F4]キーを入力します。
- ④ クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。

### USB機器のリセット

USB機器がコントロールできなくなったときは、以下の操作でリセットできます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F5]	USB機器をリセットします。

## ホットキーセッティングモード(続き)

### ビープ音のON・OFF切替

ポート切替時に出力されるビープ音のON・OFFを切替えることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[B]	ビープ音のON・OFFが切替わります。(初期設定はON)

### ポート切替ホットキーの無効化

ポート切替に使用するデフォルトの操作キーは[Scr Lock]の2度押しですが、これを無効にすることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[X]→[Enter]	ポート切替に使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にする。

❗ 無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

### ホットキーの設定をデフォルトに戻す

ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[R]→[Enter]	すべての設定変更がリセットされ、デフォルト(工場出荷時の状態)の状態に戻す。

### ディスプレイエミュレーション機能

本製品は、接続されたディスプレイのメーカー名などさまざまな情報を読み込み記憶する、ディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[D]	ディスプレイエミュレーション機能を利用し、ディスプレイ情報を記憶する。

## ホットキーセッティングモード(続き)

### 手動ポート選択機能を変更する

ポート選択ボタンを押したときの動作を、代替設定に変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[S]	ポート選択ボタンを押したときの動作を代替設定に変更します。再度押すとデフォルトの設定に戻ります。

【代替設定の動作】

- ポート選択ボタンを1回押すと、KVMのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2回押すと、オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2秒以上長押しすると、KVM・USBハブ・オーディオすべてを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタン1と2を2秒以上長押しすると、オートスキャンを開始します。

※デフォルトの動作はP.6「各部の名称とはたらき」をご覧ください。

### マウスエミュレーション機能を使用する

マウスエミュレーション機能がONの場合、ポート切替直後からマウスを操作できます。ただし、特殊なドライバーを要するマウスは使用できません。

マウスエミュレーション機能がOFFの場合、ポート切替後、マウスを認識し使用可能になるまで数秒かかる場合がありますが、特殊なドライバーを要するマウスなども使用できます。

ご使用の環境に応じて選択してください。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[M]	マウスエミュレーション機能のON・OFFを切替えます。(初期設定はON)

### キーボードとマウスをリセットする

USB2.0に対応していないOSが起動しているパソコンを接続すると、キーボードやマウスが反応しなくなる場合があります。このような場合は、キーボードとマウスをリセットしてください。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F1]	キーボードとマウスをリセットします。

## ホットキーセッティングモード(続き)

### ホットキーセッティングモード一覧

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更する。 [Num Lock]+[-] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[-] ……
[Num Lock]+[-]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更する。 [Scr Lock][Scr Lock] ▶ [Ctrl][Ctrl] ▶ [Scr Lock][Scr Lock] ……
[Num Lock]+[-]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。 PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[-]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、このホットキーを押してください。
[Num Lock]+[-]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。
[Num Lock]+[-]→[F5]	USB機器をリセットします。
[Num Lock]+[-]→[B]	ポート切替え時のピープ音のON-OFFが切替ります。
[Num Lock]+[-]→[X]→[Enter]	ポート切替えに使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にする。 または有効にする。循環式に変更します。
[Num Lock]+[-]→[R]→[Enter]	ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻す。
[Num Lock]+[-]→[D]	ディスプレイエミュレーション機能を利用し、ディスプレイ情報を記憶する。
[Num Lock]+[-]→[S]	フロントパネルのポート選択ボタンを押したときの動作を代替設定に 変更します。再度押すとデフォルトの設定に戻ります。
[Num Lock]+[-]→[M]	マウスエミュレーション機能の有効・無効を切替えます。 デフォルトでは有効になっています。
[Num Lock]+[-]→[F1]	キーボードとマウスをリセットします。

## Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード(101/104キー)でも、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーが使用可能になります。

PC互換キーボード	Macキーボード
[Shift]	shift
[Ctrl]	control
	
[Ctrl]→[1] ※	
[Ctrl]→[2] ※	
[Ctrl]→[3] ※	
[Ctrl]→[4] ※	
[Alt]	alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	return
[Backspace]	delete
[Insert]	help
[Ctrl]→ 	F15

※ [Ctrl]キーを押してすぐに離し、その後フルキー側の数字キー[1]～[4]を押して離してください。

## 仕様

品番	SW-KVM2HDCN2	SW-KVM4HDCN
対応パソコン	Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ ※USB Aコネクタ、DVI(24/29pin)ディスプレイコネクタを持つ機種。	
対応キーボード	PS/2キーボード、USBキーボード ※2・※3・※4・※5	
対応マウス	PS/2マウス、USBマウス ※1・※4	
対応ディスプレイ	DVI(24pin・29pin)メスコネクタを持つディスプレイ ※本製品はデジタル信号、アナログ信号の両方に対応しています。付属の接続ケーブルはデジタル信号専用(デュアルリンク対応)ケーブルです。アナログ信号をご使用の場合は別途ケーブルをご用意ください。 ※シングルリンク・デュアルリンク両対応	
対応解像度	最大解像度2560×1600(60Hz)(WQXGA)まで	
対応スピーカー・マイク	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー・マイク	
対応OS	Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応) Windows Server 2019/2016/2012(R2)/2008(R2)/2003(R2) macOS 11、macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.8~10.11 Linux(CentOS、Ubuntu、OpenSUSE)	
インターフェース	<b>&lt;パソコン用&gt;</b> ディスプレイ/DVI(29pin)メス×2 ※デュアルリンク対応 キーボード/マウス-USB2.0ハブ/USB Bコネクタメス×2 フロントスピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 サイドスピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 リアスピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 センター/サブウーハー/3.5mmステレオミニジャック×2 マイク/3.5mmステレオミニジャック×2 ライン/3.5mmステレオミニジャック×2	<b>&lt;パソコン用&gt;</b> ディスプレイ/DVI(29pin)メス×4 ※デュアルリンク対応 キーボード/マウス-USB2.0ハブ/USB Bコネクタメス×4 スピーカー/3.5mmステレオミニジャック×4 マイク/3.5mmステレオミニジャック×4
	<b>&lt;コンソール用&gt;</b> ディスプレイ/DVI(29pin)メス×1 ※デュアルリンク対応 キーボード/USB Aコネクタメス×1 マウス/USB Aコネクタメス×1 フロントスピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 サイドスピーカー/3.5mmステレオミニジャック×1 リアスピーカー/3.5mmステレオミニジャック×1 センター/サブウーハー/3.5mmステレオミニジャック×1 マイク/3.5mmステレオミニジャック×2 ライン/3.5mmステレオミニジャック×1 USB2.0ハブ/USB Aコネクタメス×2	<b>&lt;コンソール用&gt;</b> ディスプレイ/DVI(29pin)メス×1 ※デュアルリンク対応 キーボード/USB Aコネクタメス×1 マウス/USB Aコネクタメス×1 スピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 マイク/3.5mmステレオミニジャック×2 USB2.0ハブ/USB Aコネクタメス×2
切替方式	本体ボタン切替、ホットキー切替、オートスキャン切替	
切替音	ビーブ音 ON/OFF設定可能	
電源	ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)	
消費電流	最大1.57A	最大1.92A
動作時温度・湿度	0~50℃ 湿度85%以下(結露なきこと)	
保管時温度・湿度	-20℃~60℃ 湿度90%以下(結露なきこと)	
サイズ	W260×D70×H42mm(本体サイズ)	

- ※1:マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要があります。  
 ※2:キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することができません。  
 キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバーを要する機能についても本製品経由では使用することができません。  
 ※3:指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付キーボードなどは動作しないことがあります。  
 ※4:Bluetoothキーボード、Bluetoothマウスには非対応です。  
 ※5:ゲーミングキーボードなどのNキーロールオーバー機能を搭載したキーボードは動作対応しません。

## トラブルシューティング

**Q1) MacとWindowsの混在環境でコンソールにMac用キーボードを使用したい。**

**A1)** P.13の「使用キーボードの変更」を参照してください。

**Q2) 特殊なドライバーを要するマウスをコンソールで使用すると一部の機能が動作しない。**

**A2)** 本製品はデフォルトでマウスエミュレーションがONになっており、特殊なドライバーなどをエミュレートすることができません。P.15の「マウスエミュレーション機能を使用する」を参照にし、マウスエミュレーション機能をOFFにしてください。

**Q3) ワイヤレスキーボードマウスセットを使用したい。**

**A3)** USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続しご使用ください。

**Q4) ポート切替時にディスプレイ解像度が変わってしまう。**

**A4)** ディスプレイエミュレーション機能を使用しディスプレイ情報をKVMに記憶させてください。詳しくは、P.14の「ディスプレイエミュレーション機能」を参照してください。

**Q5) USBデバイスが認識しない。**

**A5)** スキャナーや複合機プリンターなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。USBケーブル長を短くしてお試しください。

**Q6) ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。**

**A6)** 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。

### 免責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。